

「孫心弁当」味わつて

津山商高3年生
お年寄り80人に贈る

津山市山北、津山商業高の3年生が12日、手作りの弁当を地元のお年寄り約80人に贈つ

た。本当の孫になつたつもりで愛情を込めた弁当は、その名も「孫心弁当」。生徒た

ちは民生委員と一緒にお年寄り宅を一軒一軒訪ねて手渡した。

弁当は、ブリの照り焼きや炊き込みご飯、カボチャのそぼろあんかけなど11品。全3年生197人がアイデアを出し合い、お年寄りが食べやすいものを中心献立を考えた。歳末たすけあい募金を活用して材料を購入し、この日は33人が家庭科の授業で調理。昼前に城北地区の83歳以上のお年寄り宅を民生委員23人と一緒に回つて届けた。

同市山北の方は中尾文哉君(18)と小椋奈々さん(18)が訪問。2人から弁当の包みを受け取

た。おいしく食べても

らいたい」と話した。

孫心弁当作りは同高

の師走の恒例行事。

(小林貴之)

つた岡田さんは「おかげで種類が多くて毎年楽しみにしている。朝早くから作ってくれてありがとうございます」と顔をほころばせた。

「喜ぶ顔を思い浮かべながら作った」と中

尾君。小椋さんは「笑

顔を見られて安心し

た。おいしく食べても

らいたい」と話した。

孫心弁当作りは同高

の師走の恒例行事。

(小林貴之)



岡田恵子さん(33)
=

「孫心弁当」をお年寄りに手渡す生徒